



蛇 田地区に突如現れる黄金色一面の菜の花畑。春の訪れを告げる阿部自然農園の圃場では、毎年たくさんの方が足を止め見入っている姿を

**地域おこし協力隊が
出会った素敵な人紹介**

自然サイクルを活用した
持続的な農業をめざす
阿部 輝夫 さん
(蛇6区)

見かけます。自然のサイクルを活用した持続可能な農業を目指している阿部輝夫さんは、野菜を中心に作付しているこの道40年のベテラン農家さん。

無駄のない昔ながらの習慣や風習を大切にし、味噌や保存食なども自分たちで手作りにしています。

一方、何事にもどんどん挑戦していく行動力には驚きを隠せません。重機車庫や加工所も一人で黙々と建ててしまいう程です。常に「楽しみ」を日常の中から見出しています。農業のかたわら加工業にも日々いそしんでいます。減農薬で栽培された小麦などは製粉し小麦粉に加工したり、無農薬で栽培した菜種やエゴマは、油を搾るため加工所を敷地内に設け圧搾しています。

有名レストランや地域飲食店からの定評も高く地産

地消にも貢献しています。初めは自分が「美味しい」「食べたい」と思うものを作りたいという考えから作付していました。今は「地元の人にもそれを食べてもらいたい」と阿部さんは語ります。

様々な障害も乗り越えてきました。地域周辺では油を搾るための搾油所は一軒もなく申請も地域では初めてのことでした。受け入れる側も前例がない分、中々理解を得られず申請を受け入れて貰うのに苦労しました。油の搾り方や栽培方法にもこだわりの、一番時間と手間のかかる方法を選び、労力を惜しまずやってきました。

時代の流れが健康志向になり、阿部さんの取り組みに賛同してくれる人も増えてきています。「消費者の声が一番の励みになる」と阿部さん自身も話します。食を通じた暮らしを提案している阿部さんの商品は道の駅あぶたなどで購入できます。こだわりの農作物と加工品を是非お試しください。

(宮本)

今月のワンショット

町議会6月会議の初日、ジオパークのポロシャツで会議を行う議員

東奔西走

今年のTOYAKOマンガ・アニメフェスタでは、何故かドラゴンボールの牛魔王に扮し取材することになりました。初めは少し恥ずかしかったのですが、そのうち羞恥心もとれ、「写真を撮らせてください」などと声をかけられると嬉しくもなりました。

人生初体験のコスプレにまんざらでもない感じがしました。(H.O)

人口と世帯の動き 5月31日現在 (先月比)	
男	4,298 (△ 1)
女	4,961 (△13)
計	9,259 (△14)
世帯	4,996 (△ 8)